

令和3年度（2021年度）

熊本県職員採用試験

【大学卒業程度（水産）】

※ 答案用紙の題には「本県水産業の維持及び発展」と記入してください。

論文課題

本県の水産業は、漁業就業者や漁獲量（海面漁業の生産量）の減少、魚価の低迷、燃油や資材の高騰など従来から抱えている問題に加え、昨年からは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるなど、極めて厳しい状況にある。

今後、本県の水産業を維持・発展させるには、効果的な施策を積極的に展開していく必要がある。

そこで、表1、表2及び図1に示す本県水産業の状況を踏まえ、今後、どのような施策を講じていくべきか、以下に示す項目の中からいずれかを選択し（複数選択可）、その項目についてあなたの考えを述べなさい。

- ①資源管理型漁業 ②栽培漁業 ③養殖業 ④漁場環境 ⑤漁村環境
⑥流通加工 ⑦スマート水産業 ⑧漁業就業者

表1 本県の漁業経営体数の推移

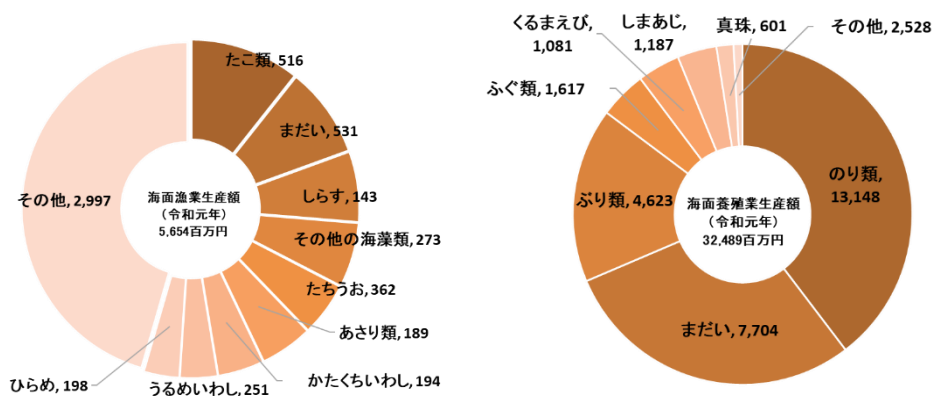
(単位:経営体)

項目	年						
	昭和63年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年
個人経営体数	8,085	6,725	5,507	5,065	4,206	3,359	2,734
団体経営体数	159	160	164	131	108	108	95
合計	8,244	6,885	5,671	5,196	4,314	3,467	2,829

表2 本県の海面漁業生産量・生産額の推移

年	生産量(トン)			生産額(百万円)		
	海面漁業	海面養殖業	合計	海面漁業	海面養殖業	合計
平成元年	74,051	51,683	125,734	30,416	35,360	65,776
平成11年	28,341	58,125	86,466	13,181	32,919	46,100
平成21年	20,978	57,630	78,608	7,639	25,569	33,208
令和元年	15,323	49,449	64,772	5,654	32,489	38,143

図1 令和元年の本県の魚種別生産額（左：海面漁業、右：海面養殖業）



《注意事項》

- ※ 答案用紙は表裏750字の1500字詰めとなっています。1000字程度で答案を作成してください。
- ※ 下書きのための用紙は配付しませんので、この用紙の裏面をお使いください。
- ※ この論文課題用紙は持ち帰ることができます。